



三中だより

中野区立第三中学校

第10号

平成29年2月22日発行

デジタル時代の子どもの悩みに対応する

校長 齊藤 久

先日、卒業生の保護者が三中を訪れた時に、「学校の雰囲気が変わりましたね。」と私に伝えてくれました。私が「どのように変わりましたか？」と質問すると「廊下ですれ違った生徒が明るく挨拶をしてくれて、学校の雰囲気がとても柔らかくなったように感じます。」と感想を述べてくれました。今年度、様々なところで本校へのお褒めの言葉をいただき嬉しく思います。残された1か月で今年度の成果と課題をまとめ、最後の1年間となる平成29年度は、自他共に認める最高の中学校を築き上げ、その歴史を閉じ、皆様に惜しまれながら、第十中学校との統合へと進んでまいりたいと決意しております。

インターネットの調査によれば、中学生の悩みのベスト3は・・・

- (1) 人間関係 (2) 勉強 (3) 容姿

上記3つの悩みは昔も今も変わらない中学生が抱く悩みようですが、第1位の友達関係の悩みの原因となるものにネット上でのやり取りが挙げられています。三中ではSNSルールを定めSNSの使用に関して、生徒へ啓発指導を行っていますが、不適切な書き込みが原因で残念ながらトラブルが発生することもあります。

アナログ時代の中学生は、ツッパリやギャルに代表されるように社会や大人への反抗心を誰もが見て分かるように表現をしていました。現代のデジタル時代の生徒には、服装が乱れている生徒は1人もいません。しかし、時代がどのように変わったとしても思春期特有の悩みは中学生の心のバランスを失わせません。本校が落ち着いた学校として成果をあげた要因の1つに教育相談の充実があります。

質問「先生方は質問や相談に丁寧に対応してくれる。」生徒を対象にしたアンケートの

A (十分)、 B (まあ十分) の合計は、

1年生92.3% 2年生94.2% 3年生89.5%でした。

質問「学校は子どもや保護者の悩みや相談に応じている。」保護者を対象としたアンケートの

A (十分)、 B (まあ十分) の合計は、

88.4%でした。これは昨年度の86.6%の+1.7%でした。

三中では臨床心理士のスクールカウンセラーが毎週火曜に勤務しています。将来、心理士を目指している大学院生や教職経験がある「心の教室相談員」が月、水、木に勤務しています。また、保健室の日誌を読むと怪我や病気ではないが来室する生徒がいます。さらに、三中では生徒に対して、もし悩みや相談したいことがある場合は、心理面担当の先生だけではなく、普段、身近に接している教員の中で、相談しやすい教員がいれば、遠慮なく話をするように指導しています。

情報化社会の進展により便利な時代になりました。しかし、デジタル時代の子どもは学校以外の場所では通信機器を扱いゲームなどに没頭する時間が増える傾向があります。バーチャルな世界で困難な場面に遭遇した時には、クリックやボタン一つでリセットできたとしても、リアルな世界では簡単に解決できずに厳しい現実として悩ませることがあります。悩みに耳を傾け、共感し、解決策を共に考えるそんな教員の存在は、生徒の心の安定を保つことに繋がっていると思います。デジタル時代の子どもの変化に対応することは現代の学校教育の課題の一つと考えています。

今後の主な予定

2月24日(金) 都立一次入試	3月6日(月) 3年卒業遠足
2月27日(月) 定期考査(社会/技家/数学)	3月13日(月) 3年生を送る会
2月28日(火) 定期考査(国語/美術/理科)	3月17日(金) 卒業式
3月1日(水) 定期考査(音楽/英語/体育)	3月24日(金) 修了式

第2学年 スキー移動教室

第2学年 高橋 信幸

1月25日(水)～27日(金)までの2泊3日、軽井沢スキー移動教室に行ってきました。生徒達は、スキーをやったことがない生徒がほとんどで、みんな上手に滑れようになるか期待と不安で一杯だったようです。初日は、湯の丸スキー場に直行し、昼食のカレーでお腹を満たしました。おかわりが自由ということで3杯食べた生徒もいたようです。スキーの経験や技術レベル別に班編成を行い、晴天の下、開講式を行い校長先生の「この移動教室では、出来ない、無理ということは禁句です。出来ないことができるように努力しましょう。」という激励の言葉をいただきました。



そして、インストラクターの指導で実習が開始されました。どのグループも、まず、スキーの履き方や歩き方などの基本を確認し、初級班や中級班は滑り出し、初心者班はスキーに慣れることから始めていました。初心者の中には、なかなかうまくできなくて、くじけそうになっている生徒もいましたが仲間の励ましに支えられ頑張っていました。実習後は宿舎の中野区少年自然の家に行き、入浴・夕食を済ませた後は翌日のレクリエーション発表会に向けた準備を部屋ごとに行いました。

二日目は、体調不良から1名が保護者に迎えに来てもらうということもありましたが、その他の生徒は大きなけがもなく午前・午後の実習を通してスキーの技術が向上し、初心者でもリフトに乗って林間コースを滑れるようになり、スキーの楽しさを感じられるようになっていました。夜は、前日練習していたレクリエーションの発表会でした。先生のモノマネやクイズ、オリジナルの演劇などそれぞれに工夫を凝らした出し物を一生懸命披露し予定時間をかなり過ぎてしまうほどとても盛り上がった内容となりました。最終日、スキー場に行く前に退園式を行ってから移動と



いう時間的に厳しい状況でしたが、生徒たちは時間をしっかり守り、行動も早く行ってくれたために遅れることなく最後の実習をすることができました。4回の実習が終わるころには、みんな「帰りたくない」「もっと滑りたかった」などの声があがり、東京へ帰るのを惜しんでいました。この移動教室では湯の丸では珍しく3日間晴天に恵まれリフトを降りたところでの素晴らしい景色には生徒達も感動していました。この3日間を通して、子どもたちは共同生活の中でお互いをよく知る機会を得て、今まであまり話さなかった人と仲良くなったり、決まりを守ることの



大切さや周りで支えてくれる人たちへの感謝の気持ちをもつなど、大きな成長が見られた移動教室になりました。移動教室という大きな行事を成功させたことを今後の学校生活に生かしてくれることを期待したいと思います。

1学年校外学習

1学年 進藤 智成

2月2日（木）に、1年生は校外学習として、下町巡りを行いました。当日は、肌寒さは感じるものの穏やかな日差しの中、皆楽しく浅草・両国・上野の各地域を、班毎に巡りました。歴史的建造物を観たり、博物館で様々なことを学んだり、伝統工芸を体験したりと、盛り沢山の内容でした。

浅草寺では、建物の荘厳さや外国人観光客の多さに驚いたり、おみくじに一喜一憂したり、仲見世通りで食べた伝統の味に感動したりしたようです。「こういう機会でもないとなかなか寺社仏閣を訪れないから、いい経験になった」という生徒もいました。



また江戸東京博物館や、国立科学博物館では、「以前行った時とは違う見方ができた」、「時間の流れや人類や生物の歴史を肌で感じる事ができた」、という感想が出ており、小学校の時とは違う視点で見ることができている様子が見受けられました。



伝統工芸体験は、「江戸文字による扇子の装飾」、「江戸風鈴の絵付け」、「銀細工のしおり作成」、「七宝焼きペンダント作成」の中から事前に選んだものを行いました。各体験場所では、職人の方から「作品は上手、下手ではなく、気持ちや魂を込めて作ることが大切だ」などの含蓄のある言葉をいただき、心に響いた生徒も多かったようです。今回のスローガンは、実行委員のメンバーによって作られた、「マナーに気をつけ、班で協力し、東京の伝統を見直そう」というものですが、どの班も、班員同士助けあってお互いに注意し合ったり、学んだことを伝えあったりできていたようです。苦勞しつつも班員と協力して目的地にたどり着くことで達成感を味わえた、という班もありました。事後に書かれた作文に、道を教えていただいた地域の方への感謝の心がつづられたものもあり、皆さんがそのようなことを感じられる人たちに育っていることを、とても嬉しく思いました。

今も、そしてこれからも続いていくであろう伝統芸能に触れ、また、様々な建造物等の生の迫力を感じることで、見識を広めることのできた実りある校外学習となったことでしょう。今回、それぞれが班内での自分の役目を果たし、無事に帰ってくることができたという成功体験や、今後改善する必要がある課題をしっかりと見直し、今後の学校生活の中でも活かしてもらえれば、と思います。



今も、そしてこれからも続いていくであろう伝統芸能に触れ、また、様々な建造物等の生の迫力を感じることで、見識を広めることのできた実りある校外学習となったことでしょう。今回、それぞれが班内での自分の役目を果たし、無事に帰ってくることができたという成功体験や、今後改善する必要がある課題をしっかりと見直し、今後の学校生活の中でも活かしてもらえれば、と思います。

ふれあい月間といじめ防止について

生活指導主任 土屋美樹

東京都教育委員会は、毎年6月、11月をふれあい月間と定め、学校におけるいじめ等の問題行動の未然防止やその対応にかかる取組を推進しています。中野区教育委員会では2月にもいじめアンケートを実施し、問題行動の未然防止に取り組んでいます。本校においては、道徳の時間を中心とした全教育活動を通じて心の教育を推進するとともに、下記にお示しする「第三中学校 学校いじめ防止基本方針（一部抜粋）」をもとに教育活動を展開しております。先日の生徒アンケートの「明るく楽しい学校である」という項目では、94.2%の生徒が肯定的な評価をしており、一定の成果が現れてきているといえますが、今後もさらに継続・発展させて指導していくことが重要であると考えております。

2月のふれあい月間を契機に、各ご家庭におかれましても、下記の本校の方針（特に下線部）にご理解いただくとともに、各家庭でのご指導もお願いいたします。

<いじめの未然防止のための取組>

○生徒にとって安心感を実感できる居場所をつくるため、学級指導と相談体制を充実させる。

- ・5月二者面談、夏季休業中教育相談、12月三者面談、随時スクールカウンセラー等面接

○集団の一員としての自覚と自信を深めさせるため、特別活動等の充実を図る。

- ・学級活動、係・委員会活動、総合的な学習

○自己有用感を高めるために、授業や学校行事等の中で生徒が活躍できる場面を多く設定する。

- ・年間を通じた各教科の授業と学校行事

○生徒が互いを認め合える人間関係を築くため、学校行事や特別活動等の充実を図る。

- ・5月運動会、10月合唱祭、修学旅行・社会科見学、1・2年宿泊行事

○望ましい集団生活の確立と生徒の社会性を育成するため、社会体験や交流体験の充実を図る。

- ・職場体験、小中連携教育、東中野幼稚園との連携、各種ボランティア活動

○生徒自身が、いじめを自分たちの問題として受け止め、できることを主体的に考えて行動できるよう、生徒会活動を活性化させる。

- ・生徒会朝礼、生徒会新聞、生徒総会、中央委員会、生活委員会をはじめとする各種委員会、本部役員会

○規範意識を向上させるとともに豊かな心を育てるため、道徳教育と人権教育の充実を図る。

- ・道徳の授業における内容項目2-(2),3-(1),4-(1),4-(3)の重点化、11月いじめ撲滅週間、12月人権週間、7月人権講話、11月ふれあい体験、11月保育体験、各種ボランティア活動

○基礎的な学力を身につけさせるため、授業規律を確立し、わかる授業を実践する。

- ・年間を通じた各教科の授業、補充学習教室

～保護者の皆様へのお願い～

- ・いじめは絶対に許さないという強い姿勢で子どもの生活をご指導ください。
- ・三中 SNS ルールを参考に、子どもの SNS やインターネット等の利用上の家庭ルールをつくとともに、トラブル防止のために、お子様が日頃どのような利用状況かの把握と、適切な利用についてご指導ください。
- ・子どもが人やものを大切にしようとする心や態度を育成してください。
- ・子どもの様子を観察し、気になる変化等があるときは、担任へご連絡ください。

三中 SNS ルール

- ①大事なことは直接相手と会って話す。
- ②個人情報に関わるものはSNSで使用しない。
(名前、住所、電話番号、メールアドレス、顔写真、動画等)
- ③SNSの23時～6時までの使用は禁止。
- ④トラブルに巻き込まれたら、親や先生にすぐに報告する。
- ⑤家族と使い方や時間などのきまりを作って、守る。
- ⑥知らない人とは交流しない。
- ⑦相手のことを思いやって使用する。
- ⑧アプリをダウンロードするときは保護者に相談する。
- ⑨SNSを長時間使用しない。